学校番号	４０１

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史Ａ」　（山川出版社）						
副教材等	詳説「日本史図録」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史的事実をただ暗記するだけではなく、「なぜ、そのような事が起きたのか」「なぜ、このような行動に出たのか」等「なぜ」を大切に、そしてそれがその後にどう影響を与え、現代につながってきたのかを考えていけるように、生徒自身が主体的に考えていける授業を目指す。学期ごとにテーマを設け、グループで議論する授業を設定する。

2　学習の到達目標

近現代の歴史の中で、日本がアジアや世界にどのように関り、そして現代社会にどのような影響を与えたのかを考察できるようにする。特に、ここで扱う時代は悲劇的な戦争の歴史を学ぶことになるので、そこから世界の中で日本のこれから進むべき方向を生徒自身が自分なりに考えられるようにしたい。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史は過去に起こった事実だけではなく、そこから何を学び、現在に結び付けていけるのかを考える態度を養う。	歴史の流れを生み出したものは何なのか、その時代ごとに事実の中から理由を考え、自らの言葉で表現できるようにする。	史料や図表の読み取りが的確にできているか。	歴史の流れの掌握、歴史用語の理解が的確にできているか。
評価方法	提出物や授業態度 授業中の発問への回答	提出物や授業態度 授業中の発問への回答	授業中の発問への回答や定期テスト	授業中の発問への回答や定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代日本の形成	・開国 ・明治維新と諸改革 ・立憲国家の成立 ・日清戦争から日露戦争		○	○	○	b：日本を開国に導き、新しい時代を作り上げる原動力となったものとは？ c：様々な布告や法令の理解 d：富国強兵・殖産興業の成果と対外戦争の関連	定期テスト 提出物 授業態度
2学期	2つの世界大戦と日本	・第一次世界大戦と日本 ・政党政治 ・昭和の始まり ・日中戦争から太平洋戦争 ・日本に復帰した領土		○	○	○	b：第一次世界大戦が日本にとってどのような意味があり、そこから日本の進む方向がどのように決定されていったのか？ c：戦争と経済の関係 d：帝国主義・植民地主義の理解	定期テスト 提出物 授業態度
3学期	戦後の冷戦から現代	・冷戦の開始 ・高度経済成長 ・冷戦の終結	○		○	○	a：冷戦を経た新しい国際秩序の中で、日本の目指すべき役割について関心を高め意欲的に追究する。 c：経済成長と国民生活 d：冷戦構造と現代の世界情勢	定期テスト 提出物 授業態度

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。